

[部会の主な意見]

- 1 へき地診療所の利用率（分野アウトカム）の算出にあたっては、費用が発生するが有益な指標と思われる。ただ、社会保険による診療報酬請求件数も踏まえた利用率であればより信頼度の高い指標となるので、データが入手可能か確認した方が良い。入手が難しい場合でも、データの信頼性を担保するため、離島における国民健康保険の比率を入手するなどの対応が必要。
- 2 ドクターヘリの応需率についてはメッシュが入っていないので、ドクターヘリのみで評価しているのか。
- 3 巡回診療の地区数について、実績が目標の半分以下となっており、伸び悩んでいるのであれば、オンラインによる巡回診療を検討してもよいのではないか。

取組と指標の整合性 (セオリー評価)	・中間評価に向けて引き続き整理を行う。 ・未確認となっている「へき地診療所の利用率(分野アウトカム)」については、有益な指標であるので、引き続き調査が必要。
取組の実施状況 (プロセス評価)	・概ね適切に実施されており、継続した取り組みが必要。 ・巡回診療の延べ回数や延べ患者数は伸びており、指標としては「改善」しているが、地区数の目標値が20地区に対して直近の実績が8から9地区となっており目標値の半分以下となっている。伸び悩んでいるのであれば、オンラインによる巡回診療を検討してもよいのではないか。
指標の進捗状況 (インパクト評価)	・24指標のうち、13指標(54.1%)が「改善」した。 ・個別施策の取組により中間アウトカムと分野アウトカムの「改善」に寄与している。
今後の取組方針 (総合評価)	・現在の取組を継続しながら、より効果的な施策となるよう検討を行う。